

特定非営利活動法人 西脇てとて広場 2025年度事業報告

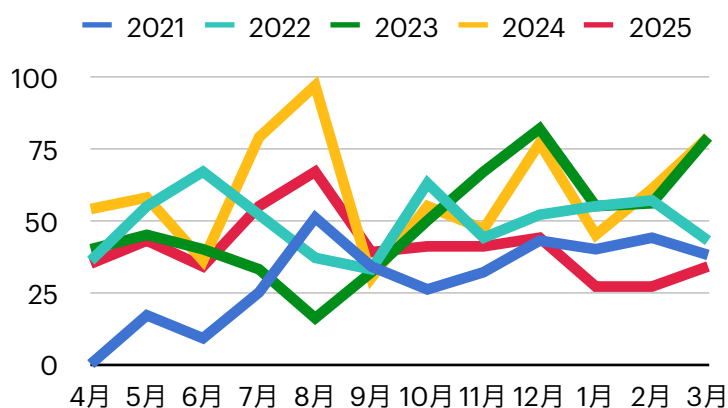
年月日	内容
4月1日	餃子の王将弁当配布（4月、12月、1月、3月 ）
4月8日	お金の教室（4月、11月、1月 全3回）
4月～3月	ハートフルボックス配布（毎月1回）
4月～3月	スポーツの日（全10回）
4月～3月	クッキング（全7回）
4月～3月	コットン畑（全8回）
4月～11月	多可町こどもマルシェほかイベント出店 全4回
4月～3月	体験活動農業（全13回）
5月3～6日	GW開放デイ（5/3,4）こどもカフェ（5/6）
5月11日	2025年度総会
5月～6月	市内小中学校、多可町・加東市教育委員会訪問
5月～12月	社会見学（5月旬菜館、7月メダカ飼育、11月牛舎、12月キリンファーム）
5月・2月	ピザ配布
5月～2月	野外活動（全4回）
5月～1月	工作・ものづくり（全4回）
5月～9月	子どもの居場所安全安心ガイドライン検討会（全3回）
5月～2月	ママカフェ・パパカフェ（全5回）
6月～3月	ひょうごコミュニティ財団共感寄付お願いの企業訪問
6月13日	ホテル鑑賞(中畑町)
6月17日	駐車場のコンクリート補修
6月21日	野菜定期便（6月から毎月1回）
7月16日	兵庫県精神保健福祉会来訪
8月・1月	つながるらじお局収録・配信（8月・1月 全2回）
8月11日	ひとり親家庭等こどもの食支援ハートフルボックス一斉配布（8月、12月）
8月・12月	JR乗車体験（全2回）
8月26日	夏祭り
8月31日	イオンイエローレシートキャンペーン募金活動
9月12日	兵庫教育大学ボランティアステーションこどもフェスタ参加
9月14日	登校拒否・不登校を考える夏の全国大会参加
9月16日	体験活動中畑林間ファミリー園栗拾い

10月4日	ひょうごコミュニティ財団交流会活動発表
10月7日	いのちのおはなし
10月・2月	マザーズスマイル食育講座（全2回）
10月26日	NPO法人キッズドアIFUTO見学
10月30日	NPO法人キリンこども応援団来訪（ひとり親家庭等子ども食支援事業）
10月31日	ハロウィンイベント
11月・1月	ベビーアタッチメントマッサージ（全2回）
11月17日	こども若者の居場所フォーラムin大阪
11月27日	ひとり親家庭等こどもの食支援弁当配布
12月	ふりーすぺーすモモさん、キリンファームさん体験活動
12月11日	フクシマガリレイ様より冷凍冷蔵庫寄贈
12月25日	クリスマスパーティ
12月26日	若者の居場所交流会
1月・3月	兵庫こども食堂ネットワーク会議
1月15日	ひょうごコミュニティ財団共感寄付参加団体座談会
1月19日	理事会
1月22日	ひょうごボランタリープラザネットワーク交流会
1月26日	評議委員会
1月31日	ひょうご青少年活動新春懇談会
2月9日	ひょうごボランタリープラザ報告会
2月12日	子ども支援交流会（明石市公設民営子どもの居場所ここのば見学）
2月14日	講演会「家庭と学校で子どもをはさむサンドイッチ教育」
2月18日	兵庫教育大学ボランティアステーション交流会
2月・3月	子どもの居場所安全安心ガイドラインワークショップ（2月・3月）
3月17日	防災学習

(1) 子どもの居場所事業

公益財団法人 大和証券財団 2024年度（第31回）ボランティア活動助成

開設日：毎週火曜日・土曜日 10時～15時
対 象：0～18歳の児童とその保護者、家族等
内 容：体験活動を中心に、室内や戸外で一緒に遊ぶ。
＜利用者数＞ 子ども：のべ487名
＜開催回数＞ 98回



＜担当者より＞

年度はじめに開催したスタッフ会議の中で、スマホ依存が心配されるご時世、ここにいるときくらいはスマホを離して、活動に集中したいという思いで、スマホ・ゲーム機の持ち込みを禁止しました。そのことがあってか、土曜日の子どもの居場所の利用者が激減しました。学校に行きづらい子どもたちが来る火曜日は、途中人数が増えたこともありましたが、安定した人数で活動できました。

体験活動

令和7年度下期「ひょうご子ども・若者応援団」一般助成事業
西脇市人権教育協議会補助金

活動日：火曜日・土曜日の子どもの居場所の中で行う
対 象：0～18歳までの子どもとその家族
内 容：野外活動、農業、調理、工作、社会学習など様々な体験活動を毎週行い、活動の中で、仲間と協力することや、苦手なことや初めてのことにチャレンジするなど、ドキドキしながらも楽しく取り組むことができました。活動にご協力くださる方がどんどん増えていき、本当に心強く思いました。

＜開催回数＞64回



＜参加者数＞のべ313人

＜指導・協力＞

農作業等：藤原晃さん、大地のぬくもりコットンボール銀行さん、キリンファームさん、なないろさん

食育講座・クッキング：マザーズスマイルさん、ふりーすぺーすモモさん、Lavo.veldeさん

野外活動：神月信三さん、

社会見学：旬菜館、三谷悟さん（黒田庄牛舎見学）、竹谷大喜さん（メダカ飼育見学）

スポーツ：西脇市スポーツ推進委員会（ボッチャほか）

工作：名井義和さん（凧づくり）、お箸づくり（PEACE OF WOODさん）西脇市地球科学館高原さん（科学工作教室）

その他：ちいさないのちのドア永原郁子さん（いのちのおはなし）、防災学習（西脇市防災安全課）、上野悦里さん（お金の講座）

その他イベント

★みらフェス出店 10月5日（日）

缶バッジのワークショップと飲み物販売

・今年度は、子ども中心にイベント出店として、10月に入ってから、缶バッジ製作の準備を始めました。お金を扱うことの練習にもなりました。

★いきいきふれ愛まつり出店 11月22日（土）

焼きそばパン、からあげパンの販売。

★きっさんちふえすワークショップ出店 10月19日（日）

缶バッジと木のみと播州織ハギレを使ったオブジェの製作

★夏祭り 8月26日（火）

ストロー工作をしたり、魚釣りやお菓子釣りゲームをして遊びました。

★クリスマスパーティ 12月25日（木）

野外活動インストラクターの神月さんにお世話になって、自然素材を使ったリースを製作し、ケーキを食べて、ビンゴゲームやお菓子釣りをして遊びました。



トワイライトスペース

赤い羽根福祉基金 特別プログラム「被害者やその家族等への支援活動助成」2025

開設日：毎週金曜日 15時～20時、毎週土曜日 18時～20時

対 象：生きづらさを抱えた子ども等

内 容：夕刻、ひとりで家で過ごしている、ひとりで宿題が進まない、

家に居づらい、などの子どもが宿題をしたり、軽食を食べたり、自由にのんびり過ごす。

<利用者数> のべ169名

<開催回数> 76回

<担当者より>

赤い羽根福祉基金の被害者支援の活動助成を受けて、10月からこれまでから気になっていた家庭や子どもさんへのアプローチを始めました。このまちのどこに、家にいられない子どもがいるのか、家出してくる子どもがいるのかと、田舎の世間一般的には遠い話に思いますが、そうではない現実があって、心が痛みます。心に傷を負ったままの子どもさんに安心できる居場所を提供していきたいと思います。

10代の居場所

西脇市社会福祉協議会 令和7年度 共同募金公募型助成

開設日：毎週木曜日 15時～20時

対 象：10代の子ども・若者

内 容：10代の子どもが家や学校でない居場所で自由に過ごす。家にひきこもりがちな子ども・若者へのラジオ配信

<利用者数> のべ54名

<開催回数> 40回

<担当者より>

中高生の居場所として、開設しましたが、実際に利用者は少なく、年間2回のラジオ配信が中心の事業となりました。1回目は中学生3名、2回目は高校3年生が、「ひとりでいてもひとりじゃない」をモチーフに、孤独な10代に少しでも伝わるように、日常のリアルで何気ない思いをそのまま話してくれました。ラジオ配信事業は、今後も続けていきたいと思っています。



子育て応援事業

開催日：11月1日、1月24日

対 象：子育て中の親子・家族

内 容：ベビーマッサージ（乳児対象）

<利用者数> 4組の親子

<指導インストラクターより>

てとて広場の2階をお借りして、何度かベビーマッサージ教室をさせていただきました。ベビーマッサージの方法や、効果などを伝えさせていただきましたが、同じ年齢の赤ちゃんを育てているお母さん同士の交流の場や、親子のふれあいの時間となっていれば幸いです。

(2) 学習支援事業

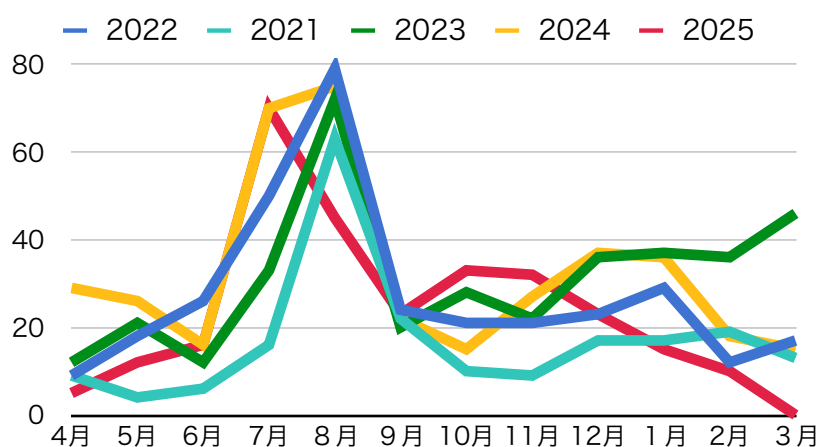
ひょうごボランティア基金地域づくり活動NPO事業助成事業

開設日：毎週水曜日 17時半～20時

夏休み中 火・木曜日 10時～12時

対 象：小学生・中学生

内 容：宿題などの学習補助および夏休み学習サポート。



<利用者数> のべ 294名

<開催日数> 50回

<担当者より>

小学生は宿題を終わらせた後、苦手な教科、単元の学習やコグトレに取組み、最後はいつもイラストの間違い探し

をして、楽しく締めくくった。

中学生は、定期テストに向けた取組みを中心に、各教科の理解を深めるとともに、基本的な学習の進め方が定着するように支援した。

リラックスした空気を保ちながらも、集中して学習できるよう、席や支援者の配置を工夫しながらサポートを行った。



(3) 生活支援事業

西脇市生活困窮者自立支援機能強化事業補助金

特定非営利活動法人キリンこども応援団 ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業助成

開催時期：4月～3月 一斉配布：8月、12月

対 象：ひとり親家庭または経済的に困窮している子育て世帯

内 容：ハートフルボックス（食料品や日用品を詰めた箱）を定期的に希望者を募り配布。経済的支援の相談と手続きのサポート

＜ハートフルボックス配布数＞

- ・ハートフルボックス定期配布 328箱
- ・野菜定期便 84箱
- ・ピザーラピザ 子ども90人分
- ・餃子の王将弁当 子ども90食
- ・なかよしりぼんさん協力 弁当50食
- ・相談件数 15件（13名）（進学時のパソコン

購入2件、入学給付金申請、マイナンバーカード作成、奨学金手続き3件、住居2件、ひとり親家庭の子育て・学校トラブル5件、その他家庭のこと）



(4) その他

★子どもの権利学習会（西脇市PTA連合会共同開催）

令和7年度北播磨地域づくり活動応援事業

日時：2月14日（土）14時半～16時

場所：茜が丘複合施設Miraie

参加者数：120人

講師：キャリー・A・フロー先生（元教員）

講演タイトル：「」

◎会員さんからのお薦めで、講師依頼をしました。

当日までに、PTAの会長さんもきてくださって、打ち合わせができました。キャリー先生は家庭と学校がこどもをはさんで、共有していくことが大切とお話され、PTAのみなさんにとっても私たちにとっても参考になるお話でした。



★こども本棚一箱オーナー制度

こども本棚のある部屋は、みんな大好き。ほっとして落ち着く居場所です。本棚オーナーさんは今年度2名増えて7名となりました。こどもを大切に思う気持ちをもってくださる方とつながることができて、本当にうれしく思っています。オーナーさんにはどんどんワークショップを開いていただきたいと思います。

★子どもの居場所安全安心ガイドライン

公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 ひょうご・みんなで支え合い基金 2025年度助成
組織応援コース助成金

検討会参加者：スタッフ、利用の子ども・保護者、理事、ボランティア

アドバイザー：元校長、弁護士、フリースクール役員

協力：西脇市役所はぴいくサポートセンター、防災安全課、北はりま消防本部、西脇警察署、村上クリニックほか

5月、7月、9月の検討会を経て、冊子を作成。1月に完成し、協力団体等に配布し、記者発表。新聞掲載、メーリングリスト等からの案内で、他団体に26冊配布（1冊2,000円の協力金をいただく）

